

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木東高校商業教育棟	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市王子一丁目1210-3ほか	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,950 時間/年(想定値)
建物用途	学校、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年3月1日
敷地面積	51,318.23 m ²	作成者	株式会社 小林建築事務所
建築面積	2,204.42 m ²	確認日	2022年3月1日
延床面積	6,292.31 m ²	確認者	株式会社 小林建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 北側視聴覚棟をセットバックし街並みへの威圧感や近隣への日影の影響を抑制、周辺環境との調和と既存校舎との一体性、街並みに配慮した外装計画。		その他
Q1 室内環境 高断熱材の使用により外皮性能を上げて、温熱環境に配慮。日除けルーバー、サービスバルコニー及び庇を採用するなど、光・視環境に配慮。また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮。	Q2 サービス性能 適切にパイプスペースを設けるなど、長寿命化に向けて設備のメンテナンス及び更新性に配慮した計画。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 高断熱材の使用により外皮性能を上げて、温熱環境に配慮。LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮。	LR2 資源・マテリアル 高性能ノンフロン断熱材を採用している。自動水栓及び節水型機器などの省水型機器を採用するなど、水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を80%以上100%未満とするなど、地球温暖化へ配慮。普通教室及び実習室の自然採光、自然通風に配慮した配置平面計画。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される